

平成 29 年 2 月 24 日

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

ホソカワミクロン株式会社

当社は、取締役会全体としての実効性を高め、その機能の向上を図ることにより企業価値を高めていくことを目的として、取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、下記のとおり、その概要につき公表いたします。

1. 評価の方法

以下の事項を内容とする全47項目からなる自己評価アンケートを取締役及び監査役計10名に配付し、無記名方式によりすべての取締役及び監査役から回答を得ました。なお、各項目の評価は、5段階評価とともに自由記載欄を設けた評価としております。

〔無記名アンケートの内容〕

- A. 取締役会の構成
- B. 取締役会の運営
- C. 取締役・監査役に対する支援体制
- D. トレーニング
- E. 株主（投資家）との対話
- F. 自身の取組み
- G. 総括

2. 当社取締役会による評価結果の概要及び課題

(1) 評価結果の概要

当社取締役会は、取締役会の実効性をさらに高めるために必要ないくつかの課題を抽出いたしましたが、おおむね適切に運営・機能しており、取締役会全体の実効性は確保できていると分析・評価いたしました。

- ① 取締役会の構成として、取締役の知識、経営、能力のバランスは適切であり、多様性は十分に確保されている。
- ② 取締役会の付議事項は適切であり、各項目の十分な審議時間が確保されている。
- ③ 取締役会資料は必要な情報が網羅され、分かりやすく整理された内容及び適切な分量となっており、適切な情報提供が確保されている。
- ④ 社内取締役・監査役と社外取締役・監査役の間において、適切な緊張感を持った良好な関係が構築されており、取締役会において発言の場が十分に確保されている。

(2) 評価結果から抽出された課題

取締役会の実効性を高めるために取り組むべき事項、以下を今後の課題として抽出いたしました。

- ① 業績報告において、単に数値的な報告に留まることなく、数値目標達成に向けたより深い戦略・施策の説明や議論が望まれる。
- ② 中長期的な成長戦略やビジョン等について議論する時間を確保する。
- ③ 当社海外事業に係る課題やリスク、ガバナンスの方法について社外取締役及び社外監査役に対して十分に説明する時間を確保する。

3. 今後の対応

当社取締役会は、上記の分析及び評価結果を踏まえ、取締役会全体の実効性をさらに高めていくため、抽出された課題を中心に継続的な改善に取り組んでまいります。

また、取締役会の実効性評価を有効なものにするため、アンケートの内容や評価の方法、課題抽出から改善までのプロセスの見直しにも鋭意取り組んでまいります。

以上